

## 平成23年度財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

建 物・・・・・・定額法（該当なし）

什器備品・・・・・・定率法（該当なし）

## (2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、80,850 円（最終回 平成 25 年 6 月）である。

## (3) 消費税等の会計処理

税込経理方式を採用している。

## 2. 会計方針の変更

会計方針は発生主義によって計上しており、変更はない。

## 3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残額は次のとおり。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000

## 4. 基本財産の財源等の内訳

（単位：円）

科 目	当期末残高	備 考
基本財産 定期預金	10,000,000	三菱UFJ信託銀行

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(1) 「建物」勘定及び固定負債「資産見返り額」勘定について

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	5,187,485 円	5,187,385 円	100 円

「建物」勘定は現在入居する「日本陶磁器センタービル」(昭和 33(1958)年 4 月起工、同年 12 月完成)に関わるものであって、建築費約 7 千 3 百万円、その建築資金として当センターのほか、日本陶磁器輸出組合(当時)、日陶連、陶工会、行政補助金などの資金が充てられたが、昭和 39(1964)年 3 月期にそれら金額を確定させ、当センター以外の団体・補助金分を差し引いた、5,187,485 円を「建築勘定」として固定資産に計上した。

昭和 52 年 3 月期までに償却し、同 53 年 3 月期「建築勘定」500,000 円 / 固定資産見返り(正味資産の部)500,000 円となり、以後その状態で経過したが、平成 22 年 3 月期に、それぞれ 100 円に減額したものである。当該ビルの管理は財団法人陶工会が行っている。

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 重要な後発事象

特になし

以上